

第4回 那覇空港調査連絡調整会議 幹事会

議事概要

1 日時 平成18年7月8日(土) 15:30~16:10

2 場所 パシフィックホテル沖縄 カネオヘルーム

3 出席者

(1) 幹事

内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾空港指導官	酒井 洋一
国土交通省大阪航空局飛行場部次長	梅野 修一
沖縄県企画部参事	傍士 清志

(2) 内閣府沖縄総合事務局開発建設部からの参加

内閣府沖縄総合事務局港湾・空港整備事務所長	三宅 光一
-----------------------	-------

4 議事

PI評価委員会の評価・助言について、資料1のとおり確認した。また、評価・助言に対する対応策を次のとおり決定した。

「PIステップ2の情報提供・意見収集について」に対する評価・助言

(1) アンケートの内容について

大問4の説明について、「現在、このような項目を考えているが、他に何かないか」ということがわかるような表現に変えること。

(対応) アンケートの主な目的は、ステップ2の内容が理解できたかどうか、であるので大問4は削除する。また意見を誘発するよう、大問5(自由意見)の設問を工夫する。

(2) 表紙について

デザインについては、回答する人の目線にたって表紙を決めてほしい。表紙にサブタイトルを入れた方が良いのでは。主要な内容を示した方が良い。

(対応) 表紙の継続性もさることながら、一般の方に関心を持ってもらうには

インパクトが重要であるので、表紙デザインを刷新し、原案通りとする。またサブタイトルとして、「将来航空需要予測について」「那覇空港の空港能力について」を取り入れる。

(3) 報告書の内容について

詳細版の15頁のタイトル下の線が抜けている。

詳細版9頁の小タイトルは、一つしかないので、大タイトルのみ表示が良いのでは。

詳細版の13頁等、節立てについて工夫が必要である。

章タイトルは、始まりとその間の部分との区別をつけたほうが良い。

間は、つづきということがわかるように示すべき。

(対応) 指摘のとおり修正を行う。

(4) 自衛隊の扱いについて

自衛隊や海上保安庁は、現状をどおりであることを、需要予測の最初の部分に前提条件として示すべきではないか。または、民航機のみ予測であることを記述しておくべき。

(対応) 指摘のとおり修正を行う。

「PIステップ2の実施スケジュール」に対する評価・助言

(1) 回答率の向上について

携帯等を活用して、メールで意見を出せるよう工夫してみてもどうか。

回答率を上げるための努力をしていただきたい。

(対応) 携帯での情報提供には限界があるので見送るが、メールを受け付ける等活用していく。回答率を上げる努力を引き続き行う。

(2) 広報の方法について

メディアそのものの活用も必要であることから、記者を対象とした説明会を開催して、記事にってもらうような工夫も必要

(対応) 定例記者懇談会を活用する。